

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第52号

第52週(12月22日～12月28日)

発行年月日:平成16年(2004年) 1月 9日

発行:滋賀県立衛生環境センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

* 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律及び検疫法の一部を改正する法律が平成15年11月5日から施行されました。

1) 全数報告の感染症(1類～5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (52週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (52週)	全国 (52週)	滋賀	全国 ^(*)
1類感染症 ^(*)	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	1	7	459	6	693
	パラチフス	0	0	38	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	8	2635	14	3132
4類感染症	エキノкокクス症	0	0	17	1	9
	オウム病	0	1	44	0	55
	ツツガムシ病	0	1	380	0	329
	レジオネラ症	0	1	143	1	166
5類感染症	アメーバ赤痢	0	3	504	6	453
	ウイルス性肝炎	0	3	634	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	3	115	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	52	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	8	949	6	888
	梅毒	0	2	493	4	561
	破傷風	0	1	69	0	105
急性脳炎 ^(*)	0	0	1	3	107	

(*) 平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

(*) 感染症法の改正により、重症急性呼吸器症候群(SARS)、痘そうが追加されました。

(*) 平成14年報告数は、感染症法の改正前の報告数です(定点把握の対象となる4類感染症)。感染症法の改正前(平成15年第45週まで)の累積報告数は、滋賀県 0件、全国 97件です。

2) 定点把握の対象となる5類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0.55	2.27	0.20	0.14	0.13	0	0	0	■ 52週 ■ 51週
RSウイルス感染症	0.47	0.14	1.33	0	0.20	0	0	2.50	
咽頭結膜熱	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.94	0.29	1.50	0	0.80	1.25	1.25	2.50	
感染性胃腸炎	8.91	13.14	13.67	10.50	2.20	7.25	2.75	9.00	
水痘	2.72	2.71	5.83	1.50	0.60	2.25	1.50	4.50	
手足口病	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑	0.34	0	1.17	0	0	0.50	0.25	0.50	
突発性発疹	0.66	0.86	0.50	1.00	0.20	0	1.00	1.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.72	0.29	2.00	0.25	0.20	1.25	0.25	0.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
定点当たり患者数

3) 今週のトピックス

インフルエンザウイルスA香港型の検出 全数報告感染症の発生状況

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週の患者報告数よりやや増加しています。疾患別の定点当たり患者数を先週と比較すると、水痘、伝染性紅斑、流行性耳下腺炎の定点当たり患者数が増加しており、A群溶連菌咽頭炎、感染性胃腸炎、マイコプラズマ肺炎等の定点当たり患者数は減少しています。

また、インフルエンザについては、平成15年12月24日および25日に採取された咽頭ぬぐい液から**インフルエンザウイルスA香港型**が検出されました。県内における今冬のインフルエンザウイルスA香港型の検出は今回がはじめてであり、今後、県内で流行する可能性があるため注意が必要です。

なお、インフルエンザウイルスB型については、平成15年11月17日に採取された咽頭ぬぐい液から検出されています。

インフルエンザについては、先週の定点当たり患者数より減少し0.55となっていますが、インフルエンザの発生している地域が拡大しているため十分な注意が必要です。

インフルエンザに対する一般的な注意

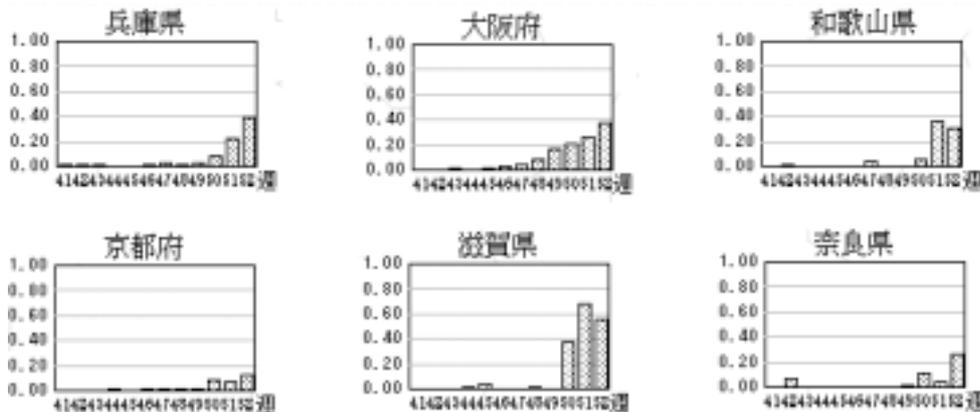
- 1.外出時には、マスクを使用する。
- 2.帰宅時には手洗いとうがいを心がける。
- 3.睡眠を十分にとり、栄養に気を配る。
- 4.室内を適度な湿度に保つ。
- 5.人混みに出かけることをなるべく避ける。
- 6.早めに医療機関を受診する(受診する際には、マスクを着用する)。

感染性胃腸炎については、先週の定点当たり患者数より減少し8.91となっていますが、**大津、水口、今津**保健所管内においては、先週の定点当たり患者数より増加しています。

水痘については、先週の定点当たり患者数より増加し2.72となっています。特に、**草津、今津**保健所管内の定点当たり患者数はそれぞれ5.84、4.5と多くなっています。

インフルエンザの他府県における発生状況は下記のグラフのとおりです。

インフルエンザの他府県における発生状況(平成15年第41～52週)



全数報告感染症の発生状況

(平成15年1～52週累積報告数、人)

疾患名	滋賀県	全国	疾患名	滋賀県	全国
コレラ	0	24	ジアルジア症	0	99
細菌性赤痢	7	459	髄膜炎菌性髄膜炎	0	17
腸チフス	0	60	先天性風疹症候群	0	1
バラチフス	0	38	ツツガムシ病	1	380
腸管出血性大腸菌感染症	8	2635	デング熱	0	31
アメーバ赤痢	3	504	日本紅斑熱	0	51
エキノコックス症	0	17	日本脳炎	0	1
オウム病	1	44	梅毒	2	493
急性ウイルス性肝炎	3	634	破傷風	1	69
Q熱	0	9	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	55
クリプトスポリジウム症	0	8	マラリア	0	77
クロイツフェルト・ヤコブ病	3	115	ライム病	0	5
劇症型溶血性	0	52	レジオネラ症	1	143
後天性免疫不全症候群	8	949			
コクシジオイデス症	0	1			

(暫定値)

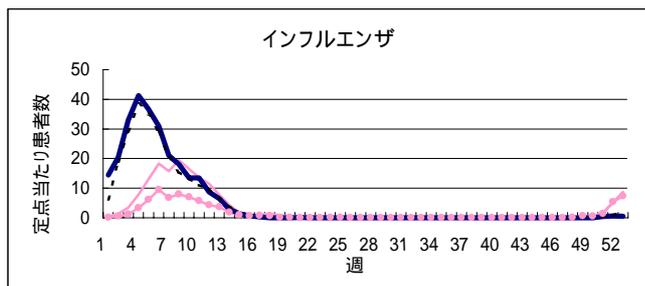
4) 性感染症・基幹定点における疾病別発生状況

性感染症・基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、尖形コンジローム、性器ヘルペスウイルス感染症、MRSA感染症の定点当たり患者数は増加していますが、性器クラミジア感染症、淋菌感染症については減少しています。

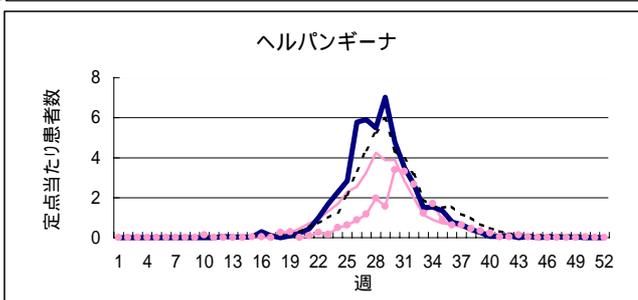
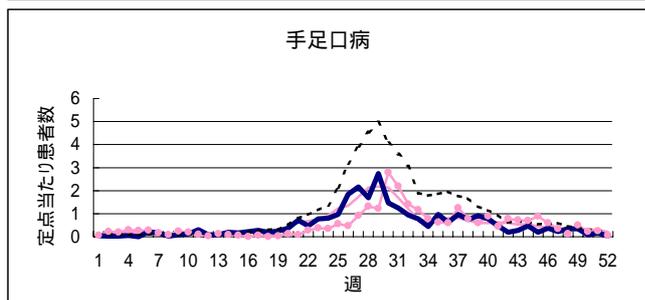
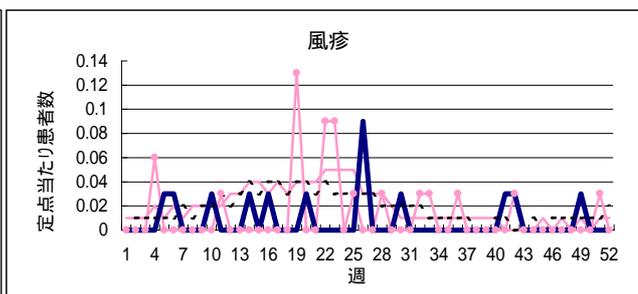
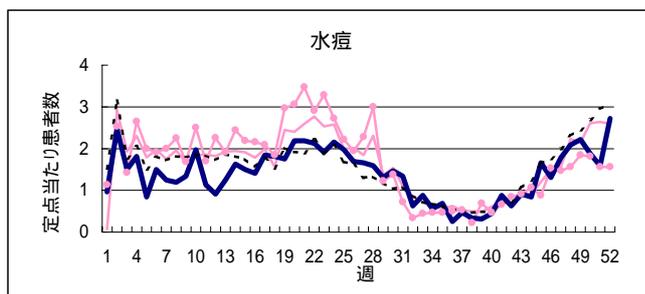
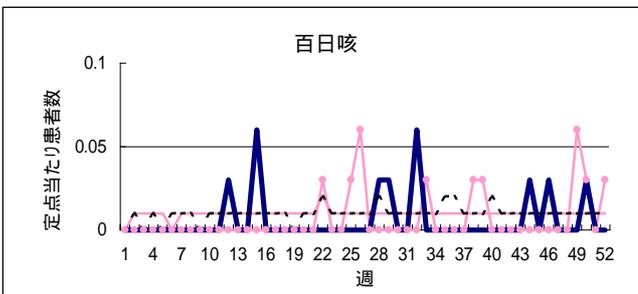
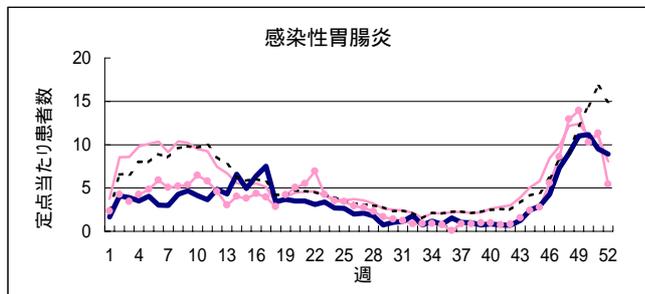
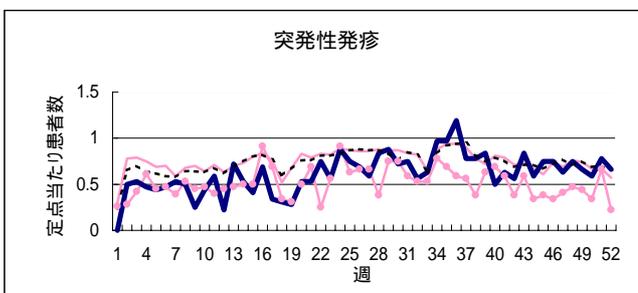
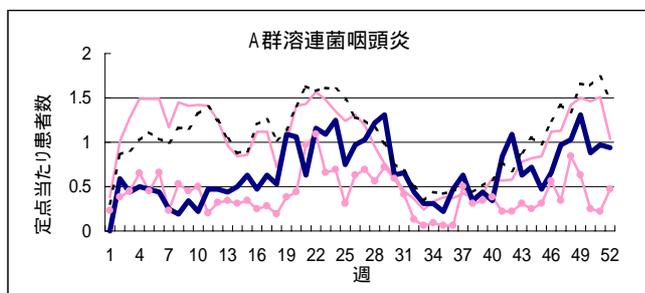
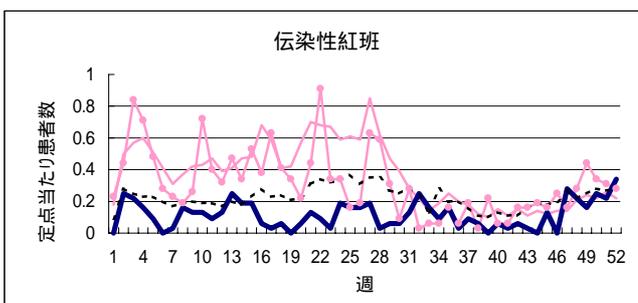
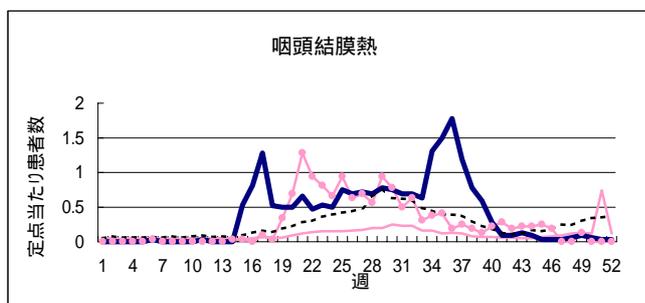
また、尖形コンジロームについては、昨年の同時期と比較すると定点当たり患者数が多くなっています。(性感染症・基幹定点における疾病別発生状況のグラフ参照)

* MRSA感染症：
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第52週)

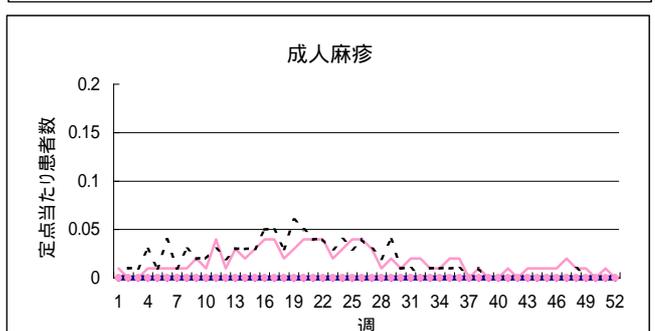
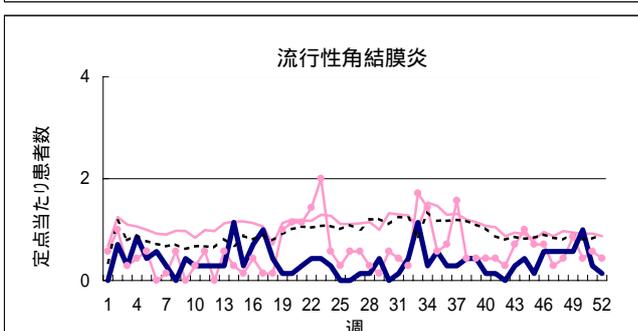
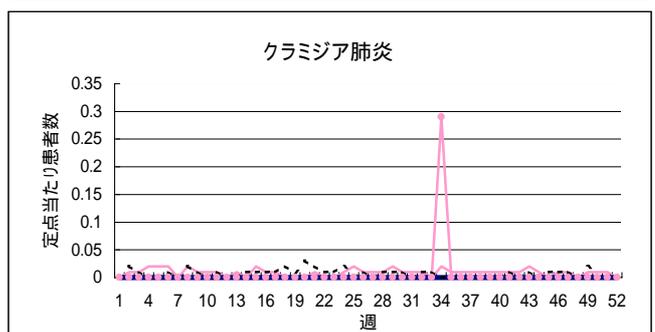
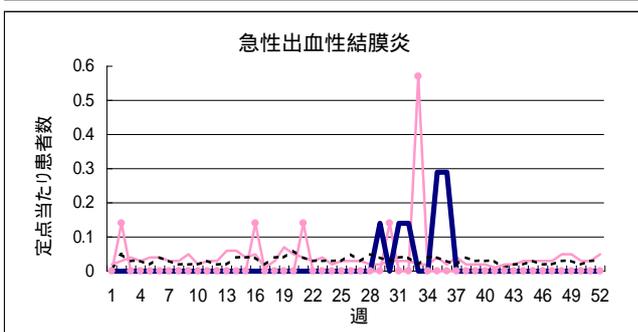
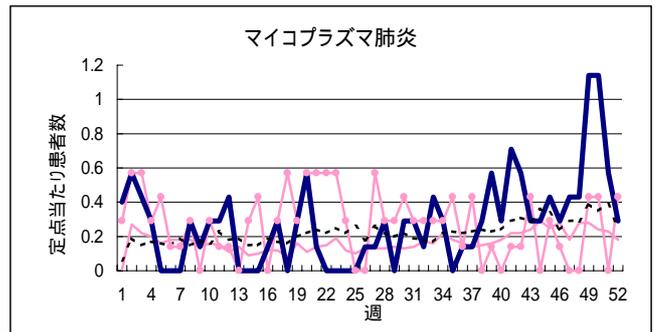
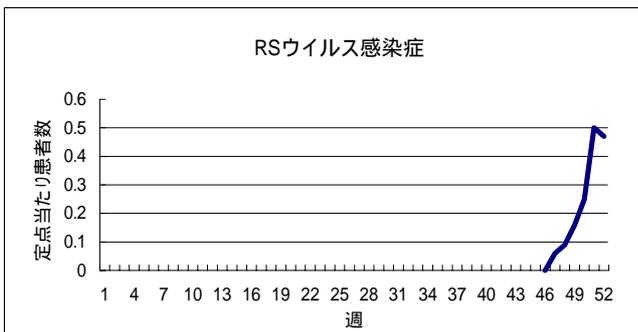
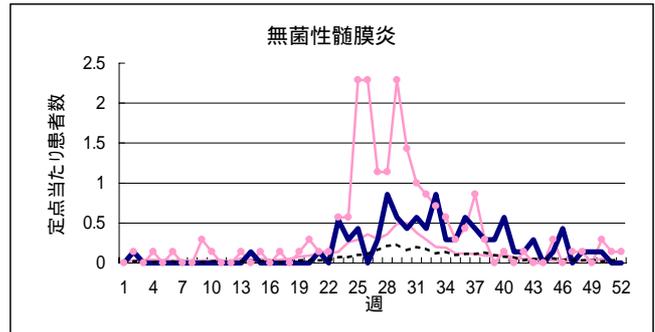
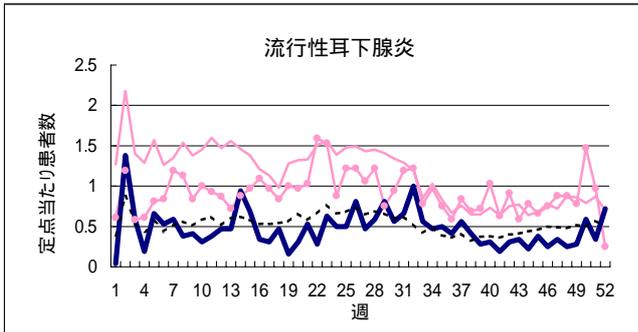
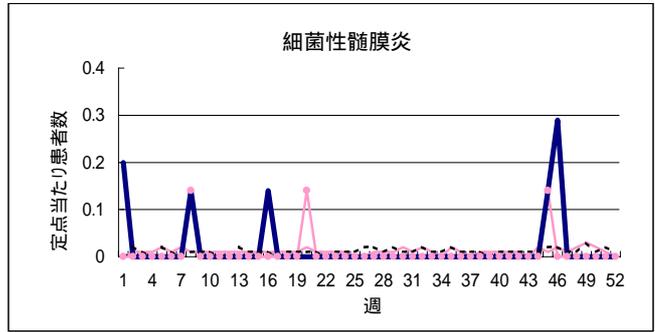
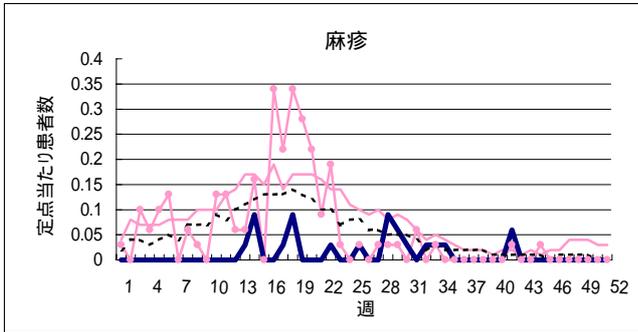


H14 { 滋賀 (pink solid line)
 全国 (pink dashed line)
 H15 { 滋賀 (blue solid line)
 全国 (blue dashed line)



疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第52週)

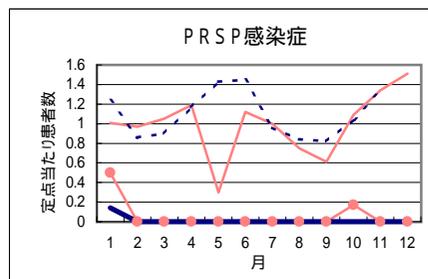
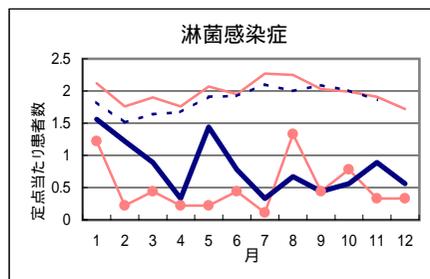
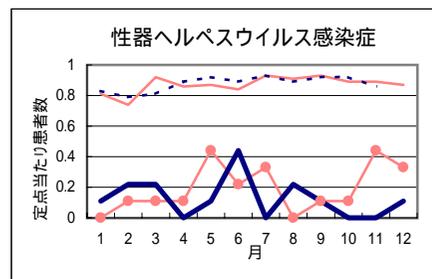
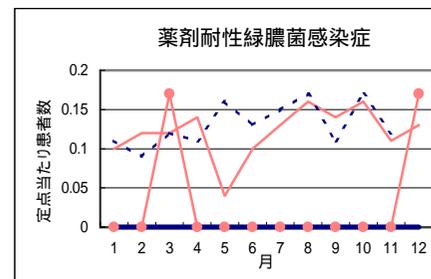
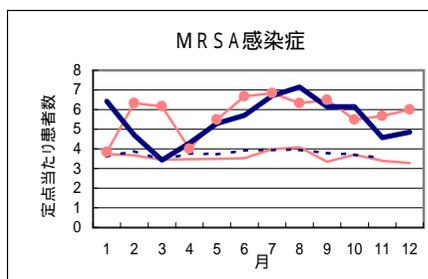
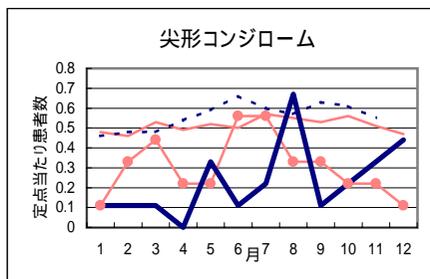
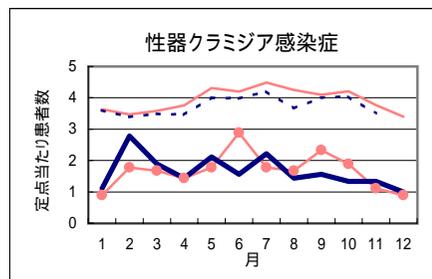
H14 〔 滋賀 ●●●●●●
 全国 ————
 H15 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -



性感染症・基幹定点における疾病別発生状況(滋賀県)

12月報 (集計期間:平成15年1月～12月)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	罹患数	10	25	17	13	19	14	20	13	14	12	12	9	178
	定点当たり	1.11	2.78	1.89	1.44	2.11	1.56	2.22	1.44	1.56	1.33	1.33	1.00	1.65
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	1	2	2	0	1	4	0	2	1	0	0	1	14
	定点当たり	0.11	0.22	0.22	0	0.11	0.44	0	0.22	0.11	0	0	0.11	0.13
尖圭コンジローム	罹患数	1	1	1	0	3	1	2	6	1	2	3	4	25
	定点当たり	0.11	0.11	0.11	0	0.33	0.11	0.22	0.67	0.11	0.22	0.33	0.44	0.23
淋菌感染症	罹患数	14	11	8	3	13	7	3	6	4	5	8	5	87
	定点当たり	1.56	1.22	0.89	0.33	1.44	0.78	0.33	0.67	0.44	0.56	0.89	0.56	0.81
MRSA感染症	罹患数	45	33	24	30	37	40	47	50	43	43	32	34	458
	定点当たり	6.43	4.71	3.43	4.29	5.29	5.71	6.71	7.14	6.14	6.14	4.57	4.86	5.45
PRSP感染症	罹患数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	定点当たり	0.14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.01
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



H14 { 滋賀 (赤い線) 全国 (赤い点線)
H15 { 滋賀 (青い線) 全国 (青い点線)

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌